

公表:令和5年 3月 31日

事業所名 ライラック

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			広い空間を利用し、ダイナミックにリズムなどの活動が出来る様にしています。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準よりも多く職員を配置しています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			朝の会などの設定活動をする場面では、刺激が少ない環境を設定するなど、特性に合わせて配慮しています。必要に応じて職員を配置したり、ヨガマットを置くなど構造化をしています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			毎日、居室の掃除・消毒に加えて、おもちゃなどの消毒もしています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			クラス会議や日々の振り返り。スーパーバージョンなどを通して改善に努めています。	今後も継続して、発達に合わせた目標設定などを行っています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○				
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			週1回研修のほか、年代別研修等月に数回研修を行っています。	
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			半期に一回アセスメントを行い、個別支援計画を立案しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			個々に合わせた個別支援計画を立てています。	

	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			個々の個別支援計画を周知し、支援を行っています。	
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員間で話し合い、季節や気候に合わせた活動を設定しています。	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節に合わせた活動を取り組んでいます。	
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	○			必要に応じて個別対応を行っています。個別の関わりをしながら、集団活動への参加を促しています。	
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日活動を計画しています。	日々の日課や活動の中で個々に大切にしていることを、周知し、必要に応じて臨機応変に対応しています。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			日々、振り返り次の支援に繋げています。	クラス運営だけではなく、個別の様子などの気付きを共有しています。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半期に一回モニタリングを行っています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			法人内の担当職員が対応しています。相談室や兄妹児のクラスと連携しています。	
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			相談室と連携し、必要に応じて情報共有しています。	
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	/				
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	/				
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			幼稚園や保育園との併行通園のお子さんには併行通園先と電話連絡や様子を見る等対応しています。	
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	/				
	㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			法人主催の外部講師による専門分野の研修等に参加しています。	
	㉘ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			法人内の保育園と交流しています。	感染状況に配慮しながら合同の活動を取り入れます。

	⑳ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子も子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			法人内の担当職員が対応しています。	
	㉑ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			母子通園時、送迎時、電話連絡などを通して子どもの様子など状況共有していきます。	
	㉒ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			がくぶりや電話連絡、メールなどを通して、参加を促しています。	参加しやすいように、母子通園をしなくてもグループカウンセリングや学習会にも参加しやすいように声掛けしていきます。
保護者への説明責任等	㉓ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	㉔ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○				
	㉕ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			事業所内相談支援に加えて、電話や母子通園の際に様子を伝える等しています。	事業所内相談支援以外の場面でもお話ししやすいように職員の側から保護者に働きかけます。
	㉖ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○				感染状況に配慮しながら、保護者同士の活動を支援します。
	㉗ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	㉘ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			がくぶりや必要に応じて、紙面での発行をしました。	がくぶりでの発行をします。必要に応じて紙面での発行をします。
	㉙ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○				
	㉚ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子どもの困り感を、保護者に面談などを通して伝えていきます。	
	㉛ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				感染状況に応じて、地域の方を招待していきます。
	非常時等の対応	㉜ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			マニュアルに沿った訓練を月1回行っています。感染対策はマニュアルに合わせた、対応をしています。
㉝ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○				
㉞ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか		○			家族支援の一環として、法人内の看護師と連携し服薬管理を行っています。	

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			アレルギーのお子さんには特別食の提供、個別対応をして間違いがないように配慮します。給食室、クラスの中で確認のマニュアルを設定し、合わせて確認しています。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			法人内で共有しています。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人内に虐待防止委員会を設定し、週1回アンダーマネジメントの練習、自分の落ち着くスキルの練習等を行っています。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			月に1回、職員会議内でマニュアルの読み合わせを行っています。また、個別支援計画に記載して同意を得ています。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。